

2次案内

第27回

令和6年度

世田谷算数授業討論会

東京学芸大学附属世田谷小学校

【今回の授業討論テーマ】

情報の受け手を育てる

日 時 令和7年 2月22日（土曜日）午後1時から

内 容

第6学年において同一のねらいを目指した2つの授業を行い、2人の授業者による討論を通して、算数教育の専門性を高める授業研究会です。

- 公開授業（Ⅰ）6年2組 授業者 北区立王子第五小学校 小川 功介 先生
- 公開授業（Ⅱ）6年1組 授業者 本校 栗田 辰一郎
- 講師 弘前大学 教授 田中 義久 先生
- 講師 東京学芸大学 教授 清野 辰彦 先生

場 所 東京学芸大学附属世田谷小学校 集会室
〒158-0081 東京都世田谷区深沢 4-10-1 03 (5706) 2131

時 間 13:00 ~ 17:00（受付12:30~）

資 料 代 1000円 ※当日、現金でお願いいたします。
こくちーず HP から事前申し込みができます。当日申し込みも可能です。



主 催

東京学芸大学附属世田谷小学校 算数部

1. 当日の日程

受付	提案	授業 (I)	授業 (II)	授業討論会	指導・助言
		小川功介 先生	栗田 辰一朗	小川功介 先生 栗田辰一朗	田中義久先生 清野辰彦先生

12:30 13:00 13:20 13:30 14:15 14:30 15:15 15:30 16:15 16:25 17:00

2. 授業討論テーマについて

「情報の受け手を育てる」

今年、昭和 100 年。関東大震災や新型コロナウイルス感染拡大などの状況から、「真偽の情報が入り混じっているという状況はいつの世においても変わらない」「将来、真偽の判断がさらに難しくなってくると推測されることから、情報の受け手を育てていくことが大切になる」

「ある事象に出会ったときに、それは本当に正しいのか、何を根拠にしているのかということについて多様な観点から、批判的に考察し、判断する力を育てていく」

「入手したデータを現実の事象と対比したり、それまでの傾向と対比したり、多様な観点から批判的に考察し、データ自体が信用に足るものだろうか、ということまでも含めて考察していく」(2023 越後 本校副校長) という想いは同じではないでしょうか。でも、その力を授業の中でどのように育てていくのかという悩みもできます。

そこで、今年度の世田谷算数授業討論では、児童が情報の受け手として統計データを根拠に多面的・批判的に考察し、判断する力を育てる授業の構想について焦点を当て、第 6 学年の二つの学級の児童を対象に、お二人の先生がそれぞれ異なる授業を立案し、実践いたします。同じ学年の同じ単元の同じ時間の二つの授業をみくらべ、その後の授業者同士の討論を聞いてともに議論することで、授業討論テーマに迫ることを目指します。

3. 公開授業

	公開授業 (I) 小川 功介 先生	公開授業 (II) 栗田 辰一朗 先生
批判的に考察する視点	データが少なすぎたり、公平でない比較をしていたりするため、その結論は信頼しにくいものだと考え、データの標本を増やそうとする。	どのデータを用いるかによって結論が異なることがあるため、その結論の妥当性を考え、異なるデータを増やそうとする。
導入教材	紙コプター	ホエールウォッチング
問題	データの根拠を明確にしてどの紙コプターがよいか選ぼう	4つのツアー情報をもとに、クジラに1番あえるツアーを1つ選ぼう
データの種類の種類	量的データ	量的データと質的データ